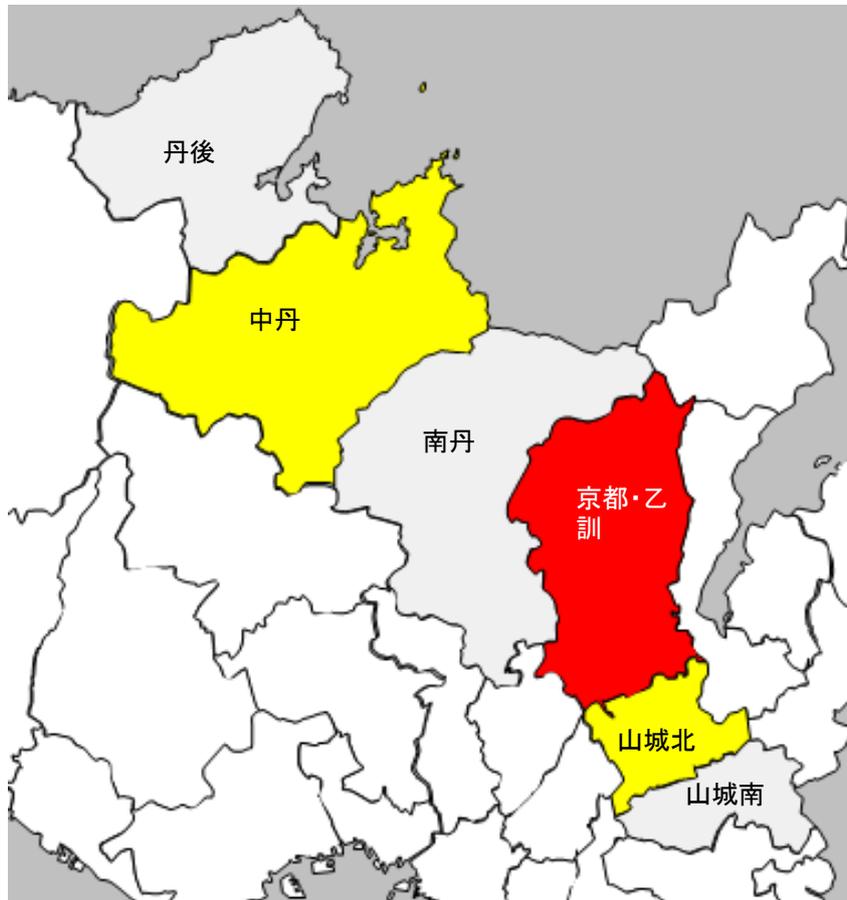


26. 京 都 府



2 6 京都府

A. 医療提供体制の現状

京都府の特徴は、(1) 比較的高い医療提供レベル、(2) 京都・乙訓の一極集中、(3) 中丹の健闘、山城南の医療不足である。

(1) 比較的高い医療提供レベル

全県を通しての人口当たりの総病床数の偏差値が 53、一般病床が 57、総医師数が 57 (病院勤務医数 57、診療所医師 55)、総看護師数が 50、全身麻酔数 52 と、全てが全国平均レベルを上回っている。

(2) 京都・乙訓の一極集中

2つの医学部のある京都・乙訓に人口の 62%が集中しているが、医師数の 75% (病院勤務医の 76%)、全身麻酔数の 72%、看護師数の 68%と、人口比率以上の医療の一極集中状態であり、京都乙訓地域の医師の過剰感が強い。

(3) 中丹の健闘、山城南の医療不足

中丹には、舞鶴、福知山という医療の拠点となる都市があり、年間 3,000 件を超える全身麻酔の手術が行われ、総医師数 48 (病院勤務医数 50)、全身麻酔件数 55、総看護師数 57 と、医療資源も多い。

奈良県と県境を接する山城南は、今後人口の増加が予想される地域にも関わらず、総医師数 39 (病院勤務医数 36)、全身麻酔件数 41、総看護師数 34 と日本でも有数の医療資源の少ない地域である。この地域の住民は、奈良県の医療機関へ受診することが多い。

B. 人口動向と将来に向けた地域の医療福祉の整備の方向性

(丹後)

日本海に面した丹後(宮津)は、人口約 10 万人、面積 840/km²、人口密度は約 120 人/km²の過疎型二次医療圏である。丹後には、年間全身麻酔 500 件を超える京都府立与謝の海病院がある。

人口当たりの総病床数の偏差値は 47 (一般病床 56、療養病床 48、精神病床なし)、総医師数が 42 (病院勤務医数 44、診療所医師 40)、総看護師数 49、全身麻酔数 52 と、過疎型地域としては比較的充実した医療提供がなされている。

2010→40年の医療の総需要が23%減、0-64歳が48%減、75歳以上が1%減であるので、一般病床の一部を、後期高齢者に対応する病棟に転換する必要があるだろう。また、地域内の集約化とネットワーク化の強化を進め、丹中や京都・乙訓からの支援と連携の強化を図ることが望ましい。

(中丹)

中丹は、人口約20万人、面積1,242/km²、人口密度は約160人/km²の地方都市型二次医療圏であり、舞鶴、福知山という拠点がある。中丹には、年間全身麻酔500件を超える舞鶴共済病院、市立福知山市民病院（救命救急）、綾部市立病院がある。

人口当たりの総病床数の偏差値は56（一般病床61、療養病床47、精神病床55）、総医師数が48（病院勤務医数50、診療所医師44）、総看護師数57、全身麻酔数55と、医学部の無い地方都市としては非常に充実した医療提供がなされている。

2010→40年の医療の総需要が13%減、0-64歳が35%減、75歳以上が5%増であり、今後急性期医療の提供過剰状態が予測される。急性期病床の集約や削減、一部を後期高齢者対応の病棟に転換する必要がある。

(南丹)

京都市の北に広がる南丹（亀岡）は、人口約15万人、面積1,144/km²、人口密度は約130人/km²の過疎型二次医療圏である。南丹には、年間全身麻酔500件を超える公立南丹病院がある。

人口当たりの総病床数の偏差値は45（一般病床53、療養病床50、精神病床なし）、総医師数が44（病院勤務医数45、診療所医師44）、総看護師数43、全身麻酔数39であり、この地域は、京都・乙訓への依存度が高い。

2010→40年の医療の総需要が1%減、0-64歳が39%減、75歳以上が41%増であり、比較的高い医療・介護の需要増が見込まれる地域なので、高齢者向けの施設・住宅や療養、亜急性期、回復期病床の増強、地域内や京都・乙訓との更なるネットワークの強化などが必要である。

(京都・乙訓)

京都・乙訓は、人口約162万人、面積861/km²、人口密度は約1,890人/km²の大都市型二次医療圏である。京都・乙訓には、京都府の医療の拠点であり、京都大学（1,182床、全麻4,000件以上）、京都府立医科大学（1,065床、全麻3,000件以上）がある。また、年間全身麻酔3,000件を超える京都第一赤十字病院（救命救急、DPCⅡ群）、年間2,000件以上の京都第二赤十字病院（救命救急）、京都医療センター（救命救急）、武田総合病院、年間1,000件以上の洛和会音羽病院（救命救急）、京都桂病院、社会保険京都病院、京都市立病院があり、周囲や近隣県からの患者の流入も多い。

人口当たりの総病床数の偏差値は56（一般病床61、療養病床51、精神病床51）、総医師数が64（病院勤務医数64、診療所医師62）、総看護師数53、全身麻酔数56であり、現在充

実した医療が提供されている。一方、総高齢者ベッド数は偏差値 46 と少ない。

2010→40 年の医療の総需要が 18%増、0-64 歳 29%減、75 歳以上が 75%増であり、今後京都地域での医療提供体制の過剰感が強まることが予想される。医師養成数の適正化と京都・乙訓で働く医師が医師不足地域での勤務を促す政策誘導、高機能病床のダウンサイジングが必要と思われる。一方 75 歳以上の医療需要 75%増加が予想されるため、急性期病床の一部を、後期高齢者に対応する病棟に転換する必要があるだろう。

(山城北)

山城北（宇治）は、人口約 45 万人、面積 258/km²、人口密度は約 1,730 人/km²の地方都市型二次医療圏である。山城北には、年間全身麻酔 1,000 件を超える宇治徳洲会病院（救命救急）、年間 500 件以上の第二岡本総合病院、宇治武田病院、田辺中央病院、京都きづ川病院があるが、京都・乙訓への依存度が高い。

人口当たりの総病床数の偏差値は 47（一般病床 48、療養病床 46、精神病床 48）、総医師数が 44（病院勤務医数 44、診療所医師 47）、総看護師数 42、全身麻酔数 44 と、比較的充実した医療提供がなされている。

2010→40 年の医療の総需要が 12%増、0-64 歳が 32%減、75 歳以上が 84%増であり、高い医療・介護の需要増が見込まれる地域なので、高齢者向けの施設・住宅や療養、亜急性期、回復期病床の増強、地域内や京都・乙訓との更なるネットワークの強化などが必要である。

(山城南)

山城南（木津川）は、人口約 11 万人、面積 263/km²、人口密度は約 430 人/km²の地方都市型二次医療圏である。山城南には、年間全身麻酔 500 件を超える公立山城病院があるが、山城北や奈良県の医療機関へ依存度が高い。現在の日本では珍しい人口増加が予測される地域である。

人口当たりの総病床数の偏差値は 34（一般病床 37、療養病床 39、精神病床なし）、総医師数が 39（病院勤務医数 36、診療所医師 46）、総看護師数 34、全身麻酔数 41 であり、人口当たりの医療資源量が日本で最も少ない医療圏の一つである。また診療所による医療の比率の高い地域である。

2010→40 年の医療の総需要が 36%増、0-64 歳 11%減、75 歳以上が 110%増であり、埼玉県、千葉県、愛知県と並ぶ、日本で最も高い高齢者の医療介護の需要の伸びが予測される。現在の医療や介護の資源では対応困難な高齢者向けの医療・介護の需要増が見込まれるので、医療・福祉の人材の確保、高齢者向けの施設や療養、亜急性期、回復期病床の増強、地域内のネットワークの強化、京都・乙訓からの支援強化などが必要である。

表 26-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口	県内シェア	面積	県内シェア	人口密度	地域タイプ	高齢化率	2010→40年 総人口増減率	2010→40年 75歳以上 人口増減率
全国	128,057,352		372,903		343.4		23%	-16%	58%
京都府	2,636,092	13位	4,608	31位	572.0		23%	-16%	63%
丹後	104,850	4%	840	18%	124.8	過疎型	32%	-37%	-1%
中丹	204,157	8%	1,242	27%	164.4	地方都市型	27%	-26%	5%
南丹	143,345	5%	1,144	25%	125.3	過疎型	24%	-25%	41%
京都・乙訓	1,623,308	62%	861	19%	1,886.0	大都市型	22%	-13%	75%
山城北	445,855	17%	258	6%	1,729.9	地方都市型	22%	-17%	84%
山城南	114,577	4%	263	6%	434.9	地方都市型	19%	5%	110%
出典	<2010年人口>平成22年国勢調査人口等基本集計 総務省統計局 平成23年10月 <面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年 <2040年人口>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

表 26-2 病院数、診療所施設数

二次医療圏	病院数	県内シェア	人口10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 施設数	県内 シェア	人口10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,605		6.7	(4.0)	99,547		78	(19.4)
京都府	175	2.0%	6.6	50	2,481	2.5%	94	58
丹後	6	3%	5.7	47	75	3%	72	47
中丹	17	10%	8.3	54	167	7%	82	52
南丹	10	6%	7.0	51	105	4%	73	48
京都・乙訓	116	66%	7.1	51	1,744	70%	107	65
山城北	23	13%	5.2	46	301	12%	68	45
山城南	3	2%	2.6	40	89	4%	78	50
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

表 26-3 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,571,473		1,228	(474)	126,031		98	(106)
京都府	35,785	2.3%	1,358	53	1,179	0.9%	45	45
丹後	1,118	3%	1,066	47	36	3%	34	44
中丹	3,101	9%	1,519	56	155	13%	76	48
南丹	1,449	4%	1,011	45	66	6%	46	45
京都・乙訓	24,754	69%	1,525	56	697	59%	43	45
山城北	4,835	14%	1,084	47	192	16%	43	45
山城南	528	1%	461	34	33	3%	29	43
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月			

表 26-4 診療所施設数（全体、無床、有床）

二次医療圏	診療所施設数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床診療 所施設数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床診療 所施設数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	99,547		78	(19.4)	89,613		70	(18.9)	9,934		7.76	(6.9)
京都府	2,481	2.5%	94	58	2,333	2.6%	89	60	148	1.5%	5.6	47
丹後	75	3%	72	47	69	3%	66	48	6	4%	5.7	47
中丹	167	7%	82	52	153	7%	75	53	14	9%	6.9	49
南丹	105	4%	73	48	96	4%	67	48	9	6%	6.3	48
京都・乙訓	1,744	70%	107	65	1,651	71%	102	67	93	63%	5.7	47
山城北	301	12%	68	45	278	12%	62	46	23	16%	5.2	46
山城南	89	4%	78	50	86	4%	75	53	3	2%	2.6	43
出典	平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

表 26-5 一般病床数、療養病床数、精神病床数

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	896,277		700	(226)	324,828		254	(196)	339,459		265	(206)
京都府	22,805	2.5%	865	57	6,382	2.0%	242	49	6,286	1.9%	238	49
丹後	885	4%	844	56	218	3%	208	48	0	0%	0	37
中丹	1,942	9%	951	61	380	6%	186	47	765	12%	375	55
南丹	1,089	5%	760	53	350	5%	244	50	0	0%	0	37
京都・乙訓	15,471	68%	953	61	4,585	72%	282	51	4,525	72%	279	51
山城北	2,940	13%	659	48	799	13%	179	46	996	16%	223	48
山城南	478	2%	417	37	50	1%	44	39	0	0%	0	37
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月			

表 26-6 救命救急センター数、がん診療拠点病院数、全身麻酔件数

二次医療圏	救命救急 センター	県内 シェア	人口 100万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	がん診療 拠点病院	県内 シェア	人口 100万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	204		1.59	(2.22)	377		2.95	(3.5)	2,577,228		2,013	(947)
京都府	3	1.5%	1.1	48	9	2.4%	3.4	51	58,716	2.3%	2,227	52
丹後	0	0%	0	43	0	0%	0	42	2,280	4%	2,175	52
中丹	0	0%	0	43	2	22%	9.8	69	5,136	9%	2,516	55
南丹	0	0%	0	43	0	0%	0	42	1,392	2%	971	39
京都・乙訓	3	100%	1.8	51	7	78%	4.3	54	42,012	72%	2,588	56
山城北	0	0%	0	43	0	0%	0	42	6,600	11%	1,480	44
山城南	0	0%	0	43	0	0%	0	42	1,296	2%	1,131	41
出典	平成24年10月 救急医学会				平成22年10月 独立行政法人国立がん 研究センターがん対策情報センター				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

表 26-7 医師数（総数、病院勤務医数、診療所医師数）

二次医療圏	総医師数				病院勤務医数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院勤務医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	321,268		251	(87)	199,499		156	(63)	121,769		95	(31)
京都府	8,162	2.5%	310	57	5,203	2.6%	197	57	2,959	2.4%	112	55
丹後	193	2%	184	42	126	2%	120	44	67	2%	64	40
中丹	480	6%	235	48	323	6%	158	50	157	5%	77	44
南丹	288	4%	201	44	179	3%	125	45	109	4%	76	44
京都・乙訓	6,121	75%	377	64	3,980	76%	245	64	2,141	72%	132	62
山城北	903	11%	203	44	515	10%	116	44	388	13%	87	47
山城南	177	2%	154	39	81	2%	70	36	96	3%	84	46
出典	病院勤務医数と診療所医師数の合計				平成23年病院報告 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

表 26-8 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師数				病院看護師数				診療所看護師数			
	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,039,059		812	(270)	858,317		671	(227)	180,742		141	(71)
京都府	21,497	2.1%	815	50	18,828	2.2%	714	52	2,669	1.5%	101	44
丹後	809	4%	771	49	641	3%	612	47	167	6%	160	53
中丹	2,032	9%	995	57	1,679	9%	822	57	353	13%	173	55
南丹	878	4%	613	43	752	4%	525	44	126	5%	88	42
京都・乙訓	14,699	68%	905	53	13,078	69%	806	56	1,620	61%	100	44
山城北	2,655	12%	595	42	2,343	12%	526	44	311	12%	70	40
山城南	425	2%	371	34	334	2%	292	33	90	3%	79	41
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成23年病院報告 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

ここでの「看護師」は「看護師」＋「准看護師」

表 26-9 療法士数と回復期病床数

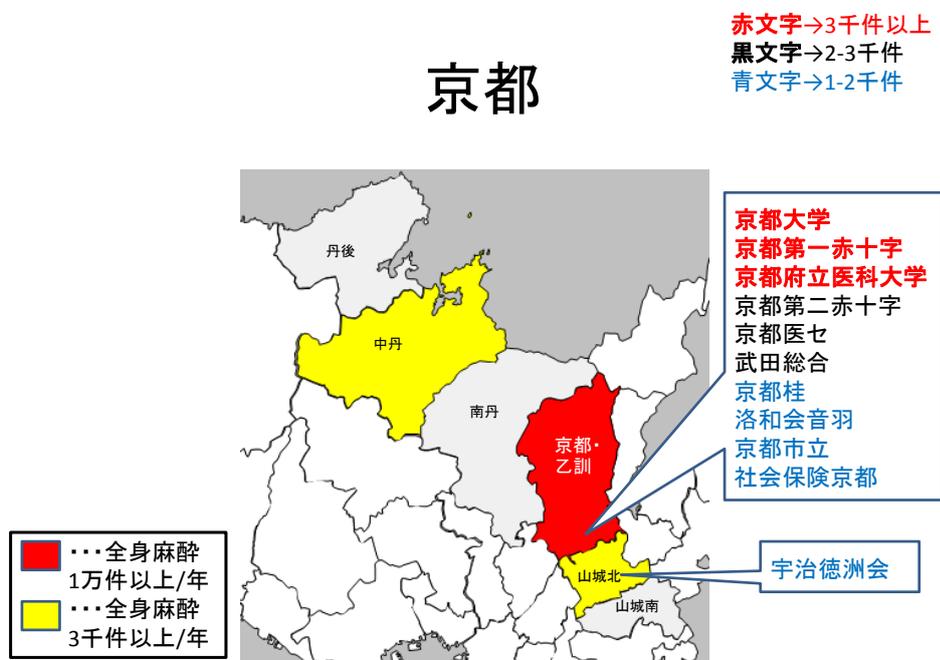
二次医療圏	総療法士数				回復期病床数			
	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	95,471		74.6	(41)	63,959		49.9	(44)
京都府	1,910	2.0%	72	49	1,045	1.6%	40	48
丹後	71	4%	67	48	50	5%	48	49
中丹	129	7%	63	47	44	4%	22	44
南丹	70	4%	49	44	0	0%	0	39
京都・乙訓	1,282	67%	79	51	722	69%	44	49
山城北	315	17%	71	49	229	22%	51	50
山城南	42	2%	37	41	0	0%	0	39
出典	平成23年病院報告 厚生労働省 平成23年10月				平成25年3月全国回復期リハ病床連絡協議会			

表 26-10 在宅医療施設（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1万人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1万人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1万人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,058		10.0	(5.4)	779		0.55	(0.6)	6,814		4.84	(1.5)
京都府	323	2.3%	11.3	52	21	2.7%	0.7	53	180	2.6%	6.3	59
丹後	11	3%	5.9	42	1	5%	0.5	50	10	6%	5.4	53
中丹	33	10%	10.8	52	1	5%	0.3	46	19	11%	6.2	59
南丹	8	2%	4.5	40	1	5%	0.6	50	11	6%	6.2	59
京都・乙訓	224	69%	13.2	56	16	76%	0.9	56	113	63%	6.7	62
山城北	36	11%	9.0	48	2	10%	0.5	49	21	12%	5.3	53
山城南	11	3%	11.1	52	0	0%	0	41	6	3%	6.0	58

出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月	介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成24年12月
----	---------------------------	---------------------------	-------------------------------

図 26-1 医療圏別基幹病院別全身麻酔手術数



(平成 23 年医療施設調査(10 月 1 か月分)の数値に 12 を掛けたもの)

表 26-11 総高齢者ベッド数、介護保険施設ベッド数、総高齢者住宅数

二次医療圏	総高齢者ベッド数				介護保険施設ベッド数				総高齢者住宅数			
	総高齢者 ベッド数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険 施設 ベッド数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	総高齢者 住宅数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,696,557		121	(23.2)	936,747		67	(12.5)	759,810		54	(20.5)
京都府	31,057	1.8%	109	45	20,686	2.2%	72	55	10,371	1.4%	36	41
丹後	1,601	5%	86	35	1,113	5%	60	44	488	5%	26	36
中丹	3,116	10%	102	42	2,163	10%	71	54	953	9%	31	39
南丹	2,299	7%	130	54	1,681	8%	95	73	618	6%	35	41
京都・乙訓	18,938	61%	112	46	12,702	61%	75	57	6,236	60%	37	42
山城北	3,991	13%	100	41	2,437	12%	61	46	1,554	15%	39	43
山城南	1,112	4%	112	46	590	3%	59	44	522	5%	53	49
出典	田村プランニング(平成25年1月データ) 介護保険施設ベッド数と総高齢者住宅数の合計				田村プランニング(平成25年1月データ) 老人保健施設(老健)収容数、特別養護老人ホーム(特養)収容数、介護療養病床数の合計				田村プランニング(平成25年1月データ) 有料老人ホーム、グループホーム、高齢者住宅、その他の合計			

表 26-12 老人保健施設(老健)収容数、特別養護老人ホーム(特養)収容数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)収容数				特別養護老人ホーム(特養)収容数				介護療養病床数			
	老人保健 施設(老健) 収容数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム (特養) 収容数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	350,538		25	(5.8)	501,495		36	(10.0)	84,714		6.0	(5.3)
京都府	6,720	1.9%	23	48	10,200	2.0%	36	50	3,766	4.4%	13.2	63
丹後	216	3%	12	27	897	9%	48	62	0	0%	0	39
中丹	762	11%	25	50	1,317	13%	43	58	84	2%	2.8	44
南丹	484	7%	27	54	864	8%	49	63	333	9%	18.9	74
京都・乙訓	4,257	63%	25	50	5,417	53%	32	46	3,028	80%	17.8	72
山城北	801	12%	20	42	1,315	13%	33	47	321	9%	8.1	54
山城南	200	3%	20	42	390	4%	39	54	0	0%	0	39
出典	田村プランニング(平成25年1月データ)				田村プランニング(平成25年1月データ)				田村プランニング(平成25年1月データ)			

表 26-13 有料老人ホーム、グループホーム、高齢者住宅

二次医療圏	有料老人ホーム				グループホーム				高齢者住宅			
	有料老人 ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	高齢者 住宅	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	313,116		22.3	(16.7)	171,021		12.2	(5.9)	88,421		6.3	(4.0)
京都府	3,558	1.1%	12.4	44	1,953	1.1%	6.8	41	1,481	1.7%	5.2	47
丹後	60	2%	3.2	39	135	7%	7.2	42	48	3%	2.6	41
中丹	90	3%	3.0	38	194	10%	6.4	40	0	0%	0	34
南丹	0	0%	0	37	99	5%	5.6	39	81	5%	4.6	46
京都・乙訓	2,428	68%	14.3	45	1,122	57%	6.6	41	1,274	86%	7.5	53
山城北	610	17%	15.3	46	331	17%	8.3	44	78	5%	2.0	39
山城南	370	10%	37.3	59	72	4%	7.3	42	0	0%	0	34
出典	田村プランニング(平成25年1月データ)				田村プランニング(平成25年1月データ)				田村プランニング(平成25年1月データ)			

表 26-14 ~64 歳人口、75 歳以上人口の推計

二次医療圏	~64歳人口			2010年を100とした ~64歳人口			75歳以上人口			2010年を100とした 75歳以上人口		
	2020	2030	2040	2020	2030	2040	2020	2030	2040	2020	2030	2040
全国	88,023,301	79,833,026	69,345,059	89	81	70	18,778,797	22,774,034	22,232,154	133	162	158
京都府	1,798,161	1,646,443	1,414,442	89	81	70	407,965	494,721	467,069	143	173	163
丹後	56,543	46,231	37,430	79	65	52	19,488	20,522	18,448	104	110	99
中丹	126,819	112,738	96,305	86	76	65	32,953	35,995	31,963	108	118	105
南丹	90,366	78,452	66,090	83	72	61	21,537	26,754	24,942	122	152	141
京都・乙訓	1,129,423	1,040,576	892,972	90	83	71	254,903	307,826	297,473	150	181	175
山城北	305,463	280,205	238,960	88	80	68	64,266	82,759	73,361	162	208	184
山城南	89,547	88,241	82,685	97	95	89	14,818	20,865	20,882	149	210	210
出典	平成22年国勢調査人口等基本集計 総務省統計局 平成23年10月 日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月											

表 26-15 2010年→40年の医療・介護の需要予測

二次医療圏	地域タイプ	2010→40			
		総医療需要 増減率	64歳以下 医療需要 増減率	75歳以上 医療需要 増減率	総介護需要 増減率
全国		10%	-30%	58%	50%
京都府		12%	-30%	63%	55%
丹後	過疎型	-23%	-48%	-1%	-4%
中丹	地方都市型	-13%	-35%	5%	3%
南丹	過疎型	-1%	-39%	41%	35%
京都・乙訓	大都市型	18%	-29%	75%	66%
山城北	地方都市型	12%	-32%	84%	69%
山城南	地方都市型	36%	-11%	110%	98%
出典	平成22年国勢調査人口等基本集計 総務省統計局 平成23年10月 日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 平成23年度 介護給付費実態調査報告 厚生労働省 平成22年度 国民医療費 厚生労働省				

※ここでの医療需要と介護需要の予測は費用ベースに年齢層別の人口増加を加味したものであり、人々の医療受療率、介護サービス受給率が2010年時点と変わらないことを前提に算出している。

図 26-2 京都府 2010 年→40 年医療介護需要の増減予測

